

編集後記

日本国内もようやくコロナ明けの様相を呈し、観光地は各地とも外国人観光客を中心に賑わっているようです。そんななか、先週、第127回日本眼科学会総会が東京大学・相原一教授のもと東京で盛大に開催されました。参加登録者数は1万人を超え、その約半数は現地参加されたそうです。特別講演、招待講演、シンポジウムなどの大きな会場でも、たくさんの先生方が聴講されていました。ようやく眼科関連の学会でも、従来の活気が戻ってきたように感じました。さらにこれから多くの先生方がオンラインでご視聴予定だと思います。日眼総会は眼科関連の研究に限ることなく、サイエンスやテクノロジーの最前線的话题を取り上げるとか、その一方で教育セミナーやサブスペシャリティサウンダーなどでの基本情報のアップデートなど、とてもバリエーションのあるプログラムが提供されています。先生方がそれぞれの立場で、参加できる、参加したい学会になっていると思います。また、現地参加とオンライン参加のコンビネーションは、参

加者増になりますし、ひいては必ず日本の眼科医療の向上につながると思います。今後のさらなる展開に期待したいと思います。

さて、『眼科』第65巻第5号をお届けいたします。特集は「前部ぶどう膜炎アップデート」です。今回は、一般眼科診療の場で比較的遭遇しやすい、全身疾患に伴う前部ぶどう膜炎、Fuchs虹彩異色性虹彩毛様体炎、ヘルペス性虹彩毛様体炎、サイトメガロウイルス虹彩炎を取り上げていただきました。それぞれについて診断と治療を中心に、とてもわかりやすく解説されています。また、綜説として、現在、眼科のトピックスのひとつである視神経炎に対する生物製剤による治療、またこれはある意味で永遠の課題である結膜囊細菌叢と耐性菌について取り上げていただきました。ほか、今回も内容豊富でたいへんに充実した『眼科』になっています。ご一読いただき、皆様の日々の診療のアップデートにお役立ていただければ幸いです。
(福地健郎・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸・坪田一男・富田剛司

「眼科」 第65巻 第5号 5月号 2023年5月5日発行（毎月1回5日発行） 定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%） 年間講読料金 定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%） 〔年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通] Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161 広告申込先 (株)文京メディカル 03 (3817) 8036
--	---

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。